

ゆうゆうバス廃止など市民サービスをばっさり削減

交野市「財政健全化緊急プランの提言」を発表

また、学校耐震化・中学校の冷暖房施設の設置・新ごみ処理場建設など、H27年度までの新規事業に34億2千万円が必要としています。そのため、市民に直接影響のある施策をバツサリ削減しようとしています。



「財政健全化緊急プラン（H22～27年度）」は、市の財政見通しについて、「自公政府による地方交付税の削減、土地開発公社やいきいきランドの借金、人口減少と高齢化等により税収が減少する。H27年度には基金を15億円残すとすれば4億8千万円の赤字となる」としています。

市は、「このプランは、財政健全化推進室が作成したものであり、担当部署と調整したものでなく、たたき台である。市民や議会・庁内の意見を聞きながら成案としていきたい」としています。日本共産党は、市民のみなさんのくらしを応援する立場で取りくんでききます。ぜひ、みなさんの意見をお寄せください。

市は、交野市財政健全化推進室が作成した「交野市財政健全化緊急プランの提言」を公表しました。今後、6月号広報に掲載、市民説明会などをへて、11月に成案とし、H22年度から実施しようとしています。実施項目には、市民の福祉・暮らしの切り下げにつながるものが多数ふくまれています。日本共産党は、「地方自治体の役割は、住民福祉の向上にある」との立場で対応していきます。

緊急プランによる削減の内容

1	ゆうゆうバスの廃止（H22～H27） 障がい者や高齢者の外出支援等に配慮しつつ廃止する	1億6,800万円
2	就学援助制度の所得基準の見直し（H22～H27） 小中学生の保護者に対する就学援助制度の所得基準は、生活保護基準を参考に持ち家と借家を区分する	5,000万円
3	生活困窮者への貸付制度の見直し（H22～H27） 貸付限度金額を30万円から20万円に減額する	90万円
4	保育所保育料の値上げ（H24～H27） 保育所保育料については、国基準の70%を目処に値上げする	4,800万円
5	障がい者の入院時に係る食事補助の廃止（H22～H27） 障がい者の入院時に係る食事補助（1食260円）を廃止する	4,200万円
6	敬老金の廃止（H22～H27） 77・88・99歳に1万円、100歳に2万円の敬老祝い金を廃止する（99歳の祝い品、金婚祝い品は継続）	5,740万円
7	老人福祉大会の見直し（H22～H27） H21年から運営内容（芸能人の出演取り止め）の見直し。H22年から開催場所をゆうゆうセンターへ移し、お年寄りの自主的な運営を促進する	440万円
8	ひとり親家庭医療費助成制度の見直し（H22～H27） ひとり親家庭医療費助成制度の内、市単独助成部分を廃止する	1,200万円
9	市民検診の実施方法見直しと高齢者への自己負担導入（H22～H27） ガン検診や成人歯科検診の実施方法の見直しと現在無料の70歳以上の高齢者に一般と同等の自己負担を導入する	2,700万円
10	年末年始の救急診療の見直し（H22～H27） 受診者数を考慮しゆうゆうセンター等、市内3箇所で開催している年末年始の救急医療を見直しする	300万円
11	鍼灸補助の廃止（H22～H27） 高齢者に対する鍼灸補助を廃止する	820万円
12	し尿汲み取り料の値上げ（H22～H27） し尿汲み取り料を見直。併せて下水道供用開始区域における未接続世帯の収集経費は全額個人負担とする	6,340万円
13	私立幼稚園等就園補助の見直し 月額1200円の一律補助の内、市外就園児に対する補助を廃止する	780万円

裏面へ続く

かたの民報

議会版

2009年5月31日
NO.1469

【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田7-44-21
☎894-2835